

V. 特記事項

1. 附属鹿児島第一幼稚園との連携について

本学は、学則第 68 条により、附属幼稚園を置いている。昭和 45 年に「霧島女子短期大学附属幼稚園」として開園し、昭和 60 年に「鹿児島第一幼稚園」と改称した。本学の校舎に隣接して設置され、学生と園児の交流が行いやすい環境にあったが、平成 29 年、現在地に移転新築した際に、本学の校舎と一体化した園舎となり、さらに身近な存在となった。鹿児島県内において、附属幼稚園などの教育施設を持つ養成校はほかにもあるが、隣接して設置しているのは本学のみであり、大きな特色となっている。

連携の具体的な内容としては「授業時の園児との交流」「幼児教育研究会活動での園児との交流」「附属幼稚園未就園児親子教室、親子体験講座、子育て講座、園内研修等における本学教員の人的資源の提供」「園行事における行事支援実習」「短大行事への園児参加」「授業時の附属幼稚園教員によるゲストスピーカー」など多岐にわたっている。本学学生にとっては、日常的に子どもたちと触れ合うことにより、子どもの特性や年齢による発達の状況を理解することができるとともに、将来の保育者としての自己をイメージすることにも繋がっている。また、附属幼稚園においては、短期大学の附属幼稚園として特色ある教育を展開することが可能となっている。

また附属幼稚園の設置者として学長が、短大の基幹教員でもある園長代理とともに、県・市の幼稚園協会の会合等に参加し、適切に情報共有を図ることで、学生のスムーズな実習・就職等につながっている。

2. 幼児教育研究会

本学独自の科目の「幼児教育研究会」では、現場で即実践応用できる内容を研究し、研究抄録にまとめる卒業研究でありながら、実際に子どもとの関わりや現場の遊びを想定した実践型研究を通し、各分野において専門性の深化を図るものである。

令和 5 年度は「こども心理研究会」「ヘルスサポート研究会」「こどもスポーツ研究会」「こどもとアクションする「命」と SDGS 研究会」「染め織りあそび研究会」「美術研究会」「発達に応じた運動遊び研究」「自然あそび研究会」「こどもと食研究会」「こどもミュージカル研究会」「こども音楽あそび研究会」「音楽アンサンブル研究会」の 12 の研究会に分かれ、それぞれの研究会において、附属幼稚園と連携し、園児を対象に遊びや観察、コンサートなどの実践活動をおこなった。また、11 月 18 日には附属幼稚園をはじめとした地域の園の親子を対象に「こどもフェスティバル」を開催し、研究会毎に舞台発表や体験ブース、販売ブース等を設け、保護者 86 名子ども 101 名 合計 187 名が来場した。

本学は、カリキュラムの特性上 1, 2 年生合同の科目を設けることが難しく、学友会主催の行事以外に交流する機会が少ない。また、授業・実習の多さと 2 カ年の就学期間ではサークル活動にも限界があるため、学生が好きなことを 2 年かけてじっくり研究し、専門の知識技術を習得する場であると同時に、異なるクラス・学年同士が交流する場にもなっている。加えて、ホテル京セラのパティシエを講師に迎えて作った焼き菓子をフェスティバルで販売するなどの産学連携、絵本の読み聞かせなどの地域ボランティアやこどもフェスティバル等において地域の子どもたちへ学びを還元することで、地域貢献にも繋がることを目的としている。